

2026 年 7 月 27 日

2026 年度埼玉県支部年次大会・CPD 講演会の実施報告

公益社団法人日本技術士会埼玉県支部

1. 開催日時 2026 年 7 月 18 日(土)13:30～19:30

2. 開催場所 年次大会:ソニックシティビル 6 階会議室 603 号室

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1 丁目 7-5

懇親交流会:くいもの屋わん大宮西口店 さいたま市大宮区桜木町 1 丁目 8-3 三有ビル8F

3. 参加人数:40 名(講師及び随行者計2名、協賛団体参加者3社3名、来賓3名、事務職員1名含む)

4. 実施記録

4.1 第一部 年次大会(13:30～15:25) 司会:中田よしみ 副支部長

4.1-1 開会挨拶、埼玉県支部活動の実績及び活動方針の説明(石田正雄 支部長)

来賓および協賛団体各位へ大会参加に対し謝辞が述べられ、埼玉県支部のモットー「技術の力で地域の発展に貢献する」に沿った昨年度の活動実績と 2026 年度の活動計画が報告された。続いて「次の 10 年の支部活動を考える」に応じたチーム埼玉県支部の活動結果が報告され、PR 動画の紹介がなされた。

4.1-2 来賓挨拶1(日本技術士会 常務理事 田附武志)

日本技術士会の IPD 事業の説明が冒頭なされ、技術士を目指す修習技術者が資質能力を得るための環境を提供する、と話された。外部理事・外部監事の選任をはじめ、活動方針に沿った 2025 年度実績と 2026 年度計画が承認されたことと、現在の会員、技術士試験受験者、CPD登録者等の人数が報告された。また 2026 年度全国大会が本年11月に北陸金沢において行われると話された。

4.1-3 来賓挨拶2(日本技術士会 理事 小林政徳 社会委員長)

埼玉県支部の次の 10 年の支部活動を考える取り組みに期待しており、計画遂行には日本技術士会の支援を活かし同志を集め、社会貢献活動として進めるとよい。技術士会方針に、このような活動支援を取り入れることは、チーム埼玉県支部の活動に資すると述べられた。

4.1-4 委員会の前年度(2025 年度)活動実績と今年度(2026 年度)活動計画

1)埼玉県支部各委員会の報告

- ・総務企画委員会:出森公人委員長から総務委員会の役割、前年度実績と今年度計画が報告された。
- ・支部会計報告:菅原宏会計担当から前年度の支部会計実績と今年度予算が報告された。
- ・CPD 委員会:菅原宏委員長から CPD 行事の前年度実績と今年度計画の報告がなされた。特に前年度から取り組む CPD 企画改善に対し 3 チーム編成で取り組んでいることが話された。
- ・科学技術振興委員会:中田よしみ委員長から前年度実績と今年度計画が報告され、運営はサポータの支援を受けつつミッションに沿い実施することと、今までの理科教室の実績の紹介がなされた。
- ・地域産業支援委員会:近藤孝委員長から委員会所掌事項と活動ポイント、前年度実績と今年度の重点施策(4 大イベントの実施、渋沢 MIX 活動)の報告がなされた。
- ・地域活性化委員会:石田正雄委員長から東部・西部・北部地域の小委員会と防災支援グループの前年度活動実績が報告され、各小委員会は講演や見学会開催を今年度行い、防災支援は関東八県支部の防災支援対応を考慮しつつ、支部横断ワーキンググループとして行うことが報告された。

2)質疑応答(フリーディスカッション)

委員会報告に対しなし。

4.2 第二部 CPD 講演会(15:35～16:40) 司会:中田よしみ 副支部長

4.2-1 講演「国土強靱化のための『自動化設備(Infra-Maint Automatics)』の開発・製造とオープンイノベーション～塗装・剥離工程の無人化&自動化を実現する自走式ロボットの紹介～」

講師:西海記念賞受賞者 株式会社川口スプリング製作所 代表取締役社長 鬼塚新二氏

1)講演

講演に先立ち、講師の学生時代から3代目社長になり現在に至る経歴が紹介された。会社はスプリング、塗装・FA、環境分野において事業展開中で、事業は 3 つに分かれ、創業初代経営者はスプリング製造事業を起こし、二代目経営者はスプリング製造用治具の塗装から塗装・FA 設備製造事業を起こし、現経営者の講師は塗装の VOC 対策を契機に、環境関連設備製造事業を起こしている。何れの事業も設計からアフターサービスまで社

内一貫体制で行い、オープンイノベーションで新しい価値が創造されるよう運営している。現在、環境関連設備製造事業でインフラ修繕設備の開発に注力しており、演題に掲げた自動化・自走式ロボットの開発で土木作業の自動化を図るようにしている。特に塗装・剥離・はつり工程の自動化に注力し、環境・安全・自動化が確保できる「現場実装型」ソリューションを目指している。この取り組みが評価され、昨年、川口商工会議所元気経営大賞を受賞した。環境設備「自動走行ロボット」も高く評価され、産業人クラブ西海記念賞の受賞となった。

実際の自走式ロボットの動作がビデオで放映され、サンドブラスト塗膜剥離やウォータージェットでの橋梁コンクリートはつり作業が紹介された。

最後に講師から、中小企業には技術士の技術支援が必要であると期待が述べられた。

2) 質疑応答

講演後、以下質疑が行われた。

Q1: 環境関連事業挑戦(進出)で苦労した内容⇒A1: 土木建築分野の実績が無く、ネットワーク構築で苦労した。

Q2: 新分野に挑戦できた理由⇒A2: 自社事業熟知、銀行勤務経験を活かし挑戦できた。

Q3: はつる際の集塵機設置の有無⇒A3: 集塵機設置は検討している。

Q4: 社内人材育成の内容⇒A4: 若手社員積極採用と中堅社員教育体制の整備。

4.2-2 閉会挨拶

菅原宏副支部長から講演に対し謝辞が述べられ、年次大会の閉会が告げられた。

その後、参加者全員の記念写真が撮影された。

4.3 懇親交流会 (17:30～19:30)

司会: 村山 肇 幹事

年次大会に出席された多くの方が交流会に参加され、懇親が深められた。

諸田敦洋総務委員会副委員長の挨拶と乾杯の音頭で始まり、石田正雄支部長の中締めで盛会に終えた。

【年次大会関連写真】



石田正雄支部長



田附武志常務理事



小林政徳社会委員長



鬼塚新二代表取締役社長



出森公人委員長



菅原宏副支部長・委員長



中田よしみ副支部長・委員長



近藤孝委員長



講演風景



参加者集合写真

(写真:CPD 委員会 速川敦彦 記録: 総務企画委員 白岩信裕)